

福光地域 会議録

件名	エンジョイふくみつ（福光地域提言実現検討組織）による第10回会議		
日時	令和4年10月17日（月）19:00～21:00	場所	福光会館（旧ベル）2階サークル室2
出席者	検討組織メンバー（現地参加）9名、（オンライン）2名、事務局（政策推進課）3名		
内容	①アンケートの設問について、②各部会からの進捗状況報告・協議、③その他		
概要	<p>◆①アンケートの設問について（資料1） （○…代表発言、●…メンバー発言、→事務局発言）</p> <p>（事務局から資料の説明） →前回と内容は同じ。特段の意見がなければこれで固めたい。 ●11月6日にはふくみつさんのイベントもあるので、回答期限を延長してはどうか。 ●回答期限を11月11日（金）にしてはどうか。 →そのように修正したい。 ●このアンケートは、10月30日の各種団体の協力はあるのか？ →商工会青年部・女性部の各テント、リアル野球盤会場にウェブアンケート用のQRコード記載のポスターを掲示してもらおう予定。また、まちなか文化祭のスタンプラリー抽選会場にはQRコード記載のポスターの掲示と紙媒体のアンケートを100枚程度設置する予定。回収箱等は用意したい。</p> <p>◆②各部会からの進捗状況報告・協議 （○…部会代表発言、●…メンバー発言、→事務局発言）</p> <p>①事業系部会 ○冬期間の雪下人参の収穫体験が実施について、「なんとだね」メンバーの日鷲農場さんと打合せをし、前向きな返事をいただいた。実施に向けて、告知方法、金額、実施時期などの具体的な内容をこの場で詰めていきたい。 ●参加費の全額を、日鷲農場さんにお渡しするような形か。 ○それも話し合いで決めたい。こちらで企画して募集するので、すり合わせて料金設定すればどうかと考えている。 ●収穫して終了ではちょっと寂しい。ビニール袋に詰め放題でいくりにするのか、グラム単価で持ち帰るとするのか、やり方はいろいろあるよう。雪下1mを掘って、人参を収穫することは非常に貴重な体験なので、それなりの付加価値を付けた金額設定ができると考えている。 ●日鷲農場さんの周囲は林に囲まれていて、何も無い環境。道路は除雪してあるが、道路から人参畑まではかんじきが必要。 ○参加者は、自分が収穫した人参をビニール袋に入れてそれを持ち帰る想定で良いだろうか。そこで昼食を食べるのはどうか。 ●地元の公民館などが借りられると良いが、日鷲農場さんの周辺で完結してしまうと、福光のまちなかとの関係が無くなってしまうように思う。 ○農泊なので、宿泊も同時に募集してはどうかと思っている。 →前回会議の事業系部会の資料に目的が記載されている。実証実験において、その目的のどの部分を目指すのか、また、事業化に向けてどのような反省点が出てくるのかを導き出してほしい。継続的な事業となるよう目指してほしい。 ○前回の会議を踏まえて、個人的には、日帰り参加と宿泊も受け付けるという形態にしてはどうかと思う。受入れ人数も10人募集して、宿泊も可能とする。 ●この体験のターゲットを誰にするのか？大人なのか、家族連れなのか。 ●今までの話から、小さい子連れになるだろうか。 ●さらに、市内対象なのか、市外対象なのか。まずは、チラシの配布が可能な市内の人を対象として、複数回開催するのであれば徐々に対象範囲を広げていくことも考えられるだろう。 ●市内小学校や保育園・幼稚園を通じてチラシ配布すれば、10組くらいはたちまち定員になるだろう。それを定期開催することで固定客も生まれるだろう。それを市外県外などに広げて宿泊などにつなげていくためにも、協力していただける農家さんや宿泊所、飲食店などにつながっていただけると良いだろう。 ●宿泊にこだわらなくても、収穫したままの人参を、まちなかの飲食店で調理してもらうのも一考。 ●例えば、小矢部川の河原近くの飲食店で調理してもらってランチ会を開催するというこ</p>		

とも考えられるだろう。

- 日程としては、午前中に体験して、昼食を食べて解散するのが良いだろうか。現地で昼食を食べても良いし、まちなかに飲食店の協力が得られるのであれば、その店舗で収穫した野菜を食べられるというイメージで内容を詰めていきたい。
- 私の経験から、時代が変わってきて、自然を求める人が増えてきたことは事実である。そんな人たちをまちなかに誘引するチャンスである。やはり、水や空気のきれいな所で仕掛けて、さらに福光のまちなかにつないでいけるように仕掛けるのが良いだろう。
- この雪下人参収穫体験も、いかにして満足してもらえるかという企画にしたい。
- 体験をする場合、市との関係はどうなるのか。例えば、広報はやってもらえるのか。
- 人的な協力で済むところは協力したい。広報についても、広報部会があるので、そこで決めてもらえると良い。
- 募集の窓口はどこになるのか。
- 電話の受付で募集を受ける程度であれば、自社で引き受けても構わない。
- まずは、宣伝を兼ねて募集が来ると良いかもしれない。
- 話題づくりと、それこそ実験である。
- 何を実験されるのかを明確にしてほしい。
- 里山で野菜の収穫体験をし、降雪期以外ならば河川敷でBBQをすとか、エンジョイふくみつがなんとのおねさんとつながることが出来たら、今後河川敷でのマルシェイベントの開催に協力してもらえることなどで、人が河川敷に集まるような循環が生まれる可能性もあるかもしれない。そういうことが口コミでどんどん伝わっていけば、より効果があるだろう。
- 最初はイベントでも良いが、最終目標をきちんと決めて進めてもらいたい。
- 募集対象を地元絞って、保育園にチラシを配布して広報する。日鷲農場さんには、日にち、時間帯、体験の予算を確認したい。開催は土曜か日曜になるだろう。昼食会場となる飲食店も確保したい。かき入れ時を避けたいので、例えば、午前10時から収穫体験を始めて、午後1時30分ごろから遅めの昼食を提案したい。チラシには、申込方法のことも記載する必要がある。
- チラシには、受付と問い合わせ先に自社名を記載し、併せて受付時間帯も記載すると良いだろう。
- 今後、事業部会で詳細を詰めた。
- 全体のスケジュールも決めてほしい。逆算して日程調整出来る。
- 続いて、セルフリノベーション塾について、先日見学した物件は、現在、所有者と購入希望者とで調整中とのことだった。
- 候補物件を使って、1日か2日間の体験イベントのようなことをやってみてはどうだろうか。実際のセルフリノベーション塾ではなく、どんな感じでやれるのか、実際に塾をする場合の注意点などの確認などが出来ると良い。
- 試しに自分たちの出来ることをやってみるといいうイメージであれば、企画しても良いだろうか。
- 良いのではないだろうか。
- セルフリノベーション塾は企画の中身がしっかりと出来上がっているのだから、イベントで開催してみて、エンジョイふくみつとして携われるのかを確認してみてはどうだろうか。
- そのような想定で考えたい。

## ②イベント部会

- 集まっていないが、今後の予定として、ふくみつさんの11月6日(日)のイベントに参加したい。また、報告だが、千本桜プロジェクトで、桜の苗木を遊部地内に目標50本のうち48本植樹した。今後、アンケート結果が出てきたら、その内容を詰めていきたい。皆さんからもイベントとしてやりたいことがあれば意見を欲しい。

## ③広報部会

- 広報は集まっておらず、現状は変わっていない。
- エンジョイふくみつ以外の各種団体の広報もあると良いのだろうか。
- 内容が福光だけだと、誰も見てくれない。誰が主体になるのかという点も悩み。

◆③その他 (○…部会代表発言、●…メンバー発言、→事務局発言)

- 11月6日のふくみつつさんの清掃活動に参加いただきたい。後日出欠確認をしたい。
- 次回会議は、11月中旬から下旬の間で調整したい。
- アンケートの集計をしてある程度分析が出来そうな段階で、会議の案内をしたい。
- 次回会議まで少々間があくので、その間に雪下人参加体験の進捗をお知らせしながら、11月の会議を迎えたい。

(以上)

◆次回会議

日時…未定

場所…未定

内容…アンケートの結果報告、部会からの進捗状況報告 ほか

## 第10回 エンジョイふくみつ

日時：令和4年10月17日（月）

午後7時00分～

場所：福光会館2階 サークル室2

あいさつ

協議事項

1. アンケートの設問について

資料1

2. 各部会からの進捗状況報告・協議

(1) 事業系部会

(2) イベント部会

(3) 広報部会

3. その他

<今後の予定>

・ふくみつ 清掃活動「ノリノリ cleaning」


日時 11月6日（日）午後2時開会

場所 ほっこり南砺

参加費 500円（おやつ付き）

内容 14：00～ 講座「森・里・川・海つながり」

14：30 ごろ 小矢部川公園の清掃活動



皆さんのご参加  
をよろしくお願いいたします。

# 小矢部川公園 活用アンケート

福光地域の賑わいづくりに向けて、地元の有志で「エンジョイふくみつ」を結成し、小矢部川公園を中心としたイベントや事業を企画しています。

このアンケートの所要時間は約5分です。皆さんからいただいた意見を参考に、賑わいの企画に反映することを目的としていますので是非、ご協力をお願いします。

調査主体 エンジョイふくみつ

連絡先 南砺市政策推進課(電話 0763-23-2052)



【あなたのことについて】※いずれか一つ選択（チェック）してください。

Q 1 性別を教えてください。 男性 女性 無回答

Q 2 職業を教えてください。

会社員 自営業（農業等） 主婦（主夫） 公務員 学生  
無職 その他（ ）



Q 3 年齢を教えてください。

10代以下 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

Q 4 居住地域を教えてください。

福光 市街地 福光 農村地域 南砺市内（福光地域外） 富山県内（南砺市外）  
富山県外 その他（ ）

「エンジョイふくみつ」では、小矢部川公園を中心としたイベントなどを開催し、福光地域全体に賑わいを広げていきたいと考えていますが、どのような内容のイベントがよいか？どのような公園になればよいか？などご意見ををお願いします。

Q 5 小矢部川公園でどのようなイベントがあれば参加したいですか？（複数回答可）

スポーツ・健康系 [マラソン、ヨガ、サイクリングなど]  
アウトドア系 [キャンプ、BBQ、釣り（魚のつかみ取り）など]  
学習系 [ホテル育成、川の歴史、ワークショップなど]  
体験系 [山羊放牧、ドッグラン、手作りいかだ、糸電話など]  
店舗系 [カフェ、屋台、マルシェ、芝居小屋など]  
芸術系 [プロジェクションマッピング、アートインスタレーション<sup>1</sup>など]  
その他（ ）



Q 6 Q 5についてどれくらいの頻度で開催されるとよいと思いますか？（複数回答可）

週1回程度 土日、休日 月1回程度 年4回程度



<sup>1</sup> アートインスタレーションとは、アートによって成り立つ空間作品です。

Q 7 イベントに参加する際、公園にあれば良いと思うものがあれば教えてください。(複数回答可)

- 駐車場    トイレ    スロープ    ステージ    ベンチ    川床(納涼床)  
 遊具(インクルーシブ<sup>2</sup>、健康)    W i f i    その他(   )



Q 8 ご自身がイベント等で協力いただける場合は、その内容を教えてください。(複数回答可)

- 企画・運営    出店    清掃活動    その他(   )

Q 9 Q 8 で選択された方については、差し支えがなければお名前と連絡先を教えてください。(いただいた個人情報は目的以外には使用しません。)

お 名 前 : \_\_\_\_\_ 連絡先(メール) : \_\_\_\_\_

Q 10 今年開催された次のイベントをご存じですか?(複数回答可)

- ミズベリング in ふくみつ千本桜プロジェクト(4月、7月)    かわらフェス(4月)  
 親子ふれあいフェス(8月)    清掃活動イベント

Q 11 Q 10 のイベントに参加されたことがありますか?(複数回答可)

- ミズベリング in ふくみつ千本桜プロジェクト(4月、7月)    かわらフェス(4月)  
 親子ふれあいフェス(8月)    清掃活動イベント

Q 12 イベントやお店に関する情報を、どのように入手していますか?(複数回答可)

- 家族や知人など    他のイベント    地域掲示板    お店    市役所(広報誌)  
 学校や職場    テレビやラジオ    ホームページ    SNS    チラシ・ポスター  
 新聞や雑誌(情報誌)    その他(   )

Q 13 このほか小矢部川公園に関してご意見があれば記載してください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



<sup>2</sup> インクルーシブ遊具とは、障がいの有無に関わらず全ての人が楽しめる遊具です。

# 小矢部川公園活用 ウェブアンケートの お願い

庁舎統合に伴うにぎわいづくりに向けて、福光地域における「まちづくり検討会議」では、【今あるものを活かしたにぎわいづくり】をまちづくりの方向性とするを南砺市長に提言しました。

この提言を実現することを目的に、今年度「エンジョイふくみつ」を結成し、小矢部川を中心としたにぎわいづくりのためのイベントや事業を企画しています。このアンケートでは、皆さんからいただいた意見を把握し、よりよいイベントや事業とするため実施するものです。なお、紙によるアンケートは実施しておりません。

所要時間は約5分です。ぜひ、ご協力をお願いします。

## ウェブアンケートは こちらからお願いします

お持ちのスマホで  
右のQRコードを  
読み込んでください



所要時間は

約 **5** 分

- ・回答期間は **10月30日(日)** まで。
- ・回答いただいた調査内容は統計的に処理した上で活用し、目的外には利用しません。

# 福光地域におけるにぎわいづくりの検討の経緯

平成30年 2月

庁舎統合の議論をきっかけに、地域住民主体の検討組織「まちづくり検討会議」が設立されました。

地域からの推薦や公募によって参加された15名のメンバーで構成された会議です。全15回の会議を開催し、将来を見据えたまちづくりの方向性と必要な施策について検討がなされました。

平成30年 12月

まちづくり検討会議でのこれまでの議論の結果を提言書にまとめて、南砺市に提出しました。

提言の内容

福光地域が目指す まちづくりの方向性

テーマ 今あるものを活かしたにぎわいづくり

1. 情報の集約と発信できる居場所
2. まちなかエリアを回遊できるまちづくり
3. 里山のつながりで、豊かな食・農・時間を共有する

## 現在

まちづくり検討会議からの提言の実現に向けて、小矢部川を中心としたにぎわいづくりの企画・検討をしています。

提言の実現に向けて「エンジョイふくみつ」を結成し、提言の内容を踏まえて、小矢部川を中心としたにぎわいづくりのためのイベントや事業を企画しています。

組織内に、事業系、イベント、広報の3つの部会を設け、具体的な内容や提言実現に向けたアンケートや実証実験を検討しています。